

リコール実例

2005年3月31日午後6時

AC滅菌後の病棟・外来器材についてBI陽性判定が出た。



該当滅菌機器の運転記録・滅菌処理器材リスト、
器材履歴管理システムの在庫管理画面を使用し、
リコール該当器材の在庫を確認した。

既滅菌保管器材のみであり、再滅菌にて対応
依頼滅菌として部署から持ち込まれた器材があったため、
回収し再滅菌を行った。

依頼滅菌リストの作成を開始

追跡管理システムが有効に機能した1例である。

2006年2月のリコールではより速やかに対応できた。

1. Traceabilityに必要なのは手法と運用

あくまで**キャリア**は使用しやすいものが良い。

2. Traceabilityを実現するためには素データの簡便な取得こそが必要である。

手術においては予約情報をきっちりと取ることで

『何をTraceするのか？』という問いに初めて答えが出る

3. 一行為一Traceという原則を考えたとき効率化を同時に行う必要がある。

たとえば手術においては……

滅菌鋼製小物

薬剤

デイスポ医療材料

滅菌医療材料

のすべてを効率的に運用すべき

- **医療材料のTraceability**
医療危機への対策を考える
現場に意識させないデータ取得